

令和6年度 第2回お互いさま推進協議会 議事録

- 1 開催日時：令和7年2月27日（木） 午後6時30分～午後8時5分
- 2 開催場所：二宮町役場 第1会議室
- 3 出席者：依田会長、石黒副会長、橋口委員、田中委員、高橋委員、
野谷委員、上田委員、中村委員、山下委員、瀬田委員、
石川委員、松永委員
欠席：春木委員、大岩委員、遠藤委員
事務局：健康福祉部長、高齢介護課長、
高齢介護課高齢福祉班長、
高齢介護課高齢福祉班員（3名）
- 4 議題
 - （1）令和6年度 大磯町・二宮町在宅医療多職種連携講演会について
 - （2）認定ドライバー養成研修～福祉有償運送運転者講習・セダン等運転者講習～について
 - （3）地域の状況と生活支援コーディネーターの動きについて
 - （4）令和7年度 二宮町生活支援体制整備事業 予定表（案）について

5 議事録

1. あいさつ

事務局

それでは定刻となりましたので、これより令和6年度第2回二宮町お互いさま推進委員会を開会します。皆様におかれましては、ご多忙のところ本日の出席いただきまして、ありがとうございます。それでは初めに配布資料の確認をします。

（資料確認）

また、今日の協議会には社協の地域福祉担当の職員も参加

させていただきますので、よろしくお願いします
次に、傍聴について、傍聴の確認をお願いします。

(傍聴なし)

本日は傍聴ありません。開会にあたり、会長の依田さんから一言をお願いします。

会長 皆さんお忙しいところ、ご出席くださいましてありがとうございます。今日もいろいろ活発なご意見、ちょっとしたことでも結構ですので、どんどん出していただけたらと思います。よろしくお願いします。

事務局 それでは早速ですが議題に入ります。会議の進行は、会長にお願いしていますので、依田会長よろしくお願いします。

2. 議題

(1) 令和6年度 大磯町・二宮町在宅医療多職種連携講演会について

会長 それでは議題1について事務局から説明をお願いします。

事務局 どうぞよろしくお願いします。資料1をご覧ください。

(資料1：令和6年度大磯町・二宮町在宅医療連携講演会実施要領に基づき説明)

会長 今説明がありましたが、自分が普段からどのぐらい考えているか、いざそうなったときに本人もご家族でも、その時にどうしたらよいかという情報は、まだまだ伝わりきらない。伝え過ぎても、かえって心配になると思いますが。皆さんのご意見があればいかがでしょうか。

委員 参加者の、関係者・福祉医療保健福祉関係者以外の方の割合はどれくらいですか。

事務局 83名です。一般の住民の方で二宮町が30人、大磯町が15名、先ほど言った専門職の方が38名です。年齢層は若い方で

30代、60～70上の方が多いです。

会長 他にいかがでしょうか。
介護事業所で相談があったときに介護についての情報を知っている方は、どれぐらいいますか。

委員 情報は、持っていない方が多くて、とりあえず相談しようという方が多いと思います。

委員 地域包括支援センターでも同じように、例えばインターネットで見たけどよくわからなかったという方がいらっしゃいますので、本当に初めて聞く方が多いと思います。

会長 予備知識のある方が少ないということは、いざというときに悩むことが多く、その状況をどう改善していくかということから、講演会は毎年やっているということでしょうか。

事務局 医療介護連携の事業なので、その都度、医師会の先生方、訪問看護師さんや湘南ウェスト介護保険の事業所連絡会の方と協議をしながら、内容を決めています。今年度は、原点に帰って住民の方に介護のことを知って欲しいという思いで実施しました。昨年度は障害者福祉の部分で8050問題の内容をテーマにしました。その前は、成年後見制度について、将来に備えるという内容で講座を実施しました。その他、アドバンスケアプランニング（人生会議）について、元気な時から治療を延命するか、どういった最後を臨むのかということを考えようという内容の講座、認知症やみとりをテーマにしています。今回7回目の講座になり、大磯町と二宮町で会場を交互に実施しています。

副会長 資料1の目標が達成できたのかどうかというのはアンケートでわかるのでしょうか。

事務局 アンケートも1つです。80%弱の回収率でした。ご意見としては、資料も今後の参考になる、こういった方が二宮町で専門職としてやっていることがすごく心強い、困ったらまず相

談する、役場や包括に相談していいんだ、他人ごとだったが身近に感じる事ができた等ありました。

あと、映像を流したのですが、先ほど言った本人の選択と心構えを大事にしながらチームで在宅支援をしているというところも理解いただいたので、目標達成にはある程度近づいたととらえています。

委員 自分たちが高齢になってきて、自分の事のように思っ
て参加している方が増えてきてるのじゃないのかなと
感じています。

会長 地域で民生委員さんに相談する方は多いですか。

副会長 ゆめクラブで講座を開くと、興味を持ってもらえて、
気になって参加する方がいます。直接、民生委員だ
からと言って相談されることはあまりないです。

委員 私は地域を回ると、こんなことで困っていてどうし
たらいいということを聞かれるので、包括支援セン
ターに報告をします。すぐに動いてくださるので、
私たちは助かっています。

会長 講演会で一般に広く伝えることも大事ですが、地
域で高齢の方々を見守っている民生委員や、地域
の方々が気にしながら活動されているということ
も大事です。皆様の臨機応変で、円滑に活動して
いただけたらと思います。

では続いて議題2について事務局の方からお願いします。

事務局 追加で、町の公式LINEができて、LINEでお知
らせや、24時間インターネット上で申し込めるよ
うにしたので、多くの方が今回参加したと思いま
す。

(2) 認定ドライバー養成研修～福祉有償運送運転者講習・セダン等運転者講習～について

事務局 議題の2ということで資料2をご覧ください。

(資料 2 : 二宮町福祉有償運送運転者講習・セダン等運転者講習会に基づき説明)

会長

福祉有償運送という資格を取るためにスタートした認定ドライバーの養成研修ですが、最近はボランティア活動、住民主体の地域の活動のためにこの講座へ参加する人が増えてきているというのが、県内での実態です。

二宮町で、福祉有償運送は私どもの大空が中心で、互助活動、地域での活動ということでは、富士見が丘のほほえみの会さんとオールウェイズ、それから個人的にやってる方もいます。あとは、サロンへ参加する方の送迎などを個別にやってるのが現状です。受講者のその後の活動ということで富士見が丘ほほえみの会さんで、この講座を受けた方の活動状況がわかればお願いします。

委員

今年度、新たに 1 名の方が受講しています。その方が 3 人目で、最初の 2 名のうち 1 名の方は主に病院への通院の送迎をしていまして、要望のある方とマッチングして直接やりとりをしています。もう 1 人の方は、月 1 回のお買い物ツアーをやっています。公共施設の富士見が丘児童館で集合して、西友さんに月 1 回のお買い物に連れていきます。

会長

希望される方とそのドライバーとのコーディネートは、ほほえみの会でやっているのですか？

委員

はい。役員で。

会長

各地区で外出の支援ができるとよいと思います。おおぞらという私どもの会報でも書きました。

理由は 2 つ、なかなか 1 人で外出できない方をできるだけ地域単位で支えていきたいということと、福祉有償運送を大空でやっていますが、ニーズが増えてきていて大空だけでは支援しきれないことも多々ありましたので、地域でできると利用したい外出をしたいという方のサポートになると思っています。

福祉有償運送は、昨年度の大空では年間に 850 回ほど福祉有償の移動サービスやってます。距離はトータル 6000 キロぐ

らいで、土日は基本的にお休みなので1日に3〜4件ぐらいのサービスを提供しています。福祉の業界は人手不足で。福祉の資格を持ってなくても、ドライバーの養成研修を受ければできるのですが、それでも人手不足で。いろいろな希望があっても、手配できませんとお断りするときもあるのが現状です。

2024年度は、2023年度に比べて増加傾向で、1つの団体ではなく、できるだけたくさんの力を出してサポートできるとよいと思います。

自由に外出するというのはある意味では人間の1つの権利で、外出したい人はできるだけサポートしていこうというのが、日本では割と最近ですが、ヨーロッパでは非常に定着しています。特に通院など病院の方でカバーすると言われていています。病院のバスがありますが自分で乗れる方はいいですが、車椅子の方はできません。

ドライバー養成講座について、ご質問でもご意見でも、いかがですか。

副会長

参加者の地域を教えてください。利用したいので情報を知りたいです。

事務局

必要性によりその方に確認をとってから、お伝えします。

地域には偏りはありません。受講の理由は、介護事業所に勤めていて知識を高めたい、定年されて仕事人間だったけど、地域に貢献したいということです。男性が多いです。

地域の助け合い活動や介護事業所の人手不足も助かると思います、毎年講座をしています。

会長

地域によって便利な場所と不便な場所、買い物や公共交通には差があると思うので、それに応じて、地域でまず考えてみるということだと思います。

副会長

ゆめクラブの話ですが、中井町や体育館へ行くときに、運転手が足りない場合が出てきます。平均年齢が80歳ぐらいなので、自発的に言ってくれば、お願いするけど、頼むことができません。だからこれから需要が増えると思います。今回も後で話しますが、3地区で地域間交流をすると、車じゃないと行

かれない方がいるので、そういう相談をしたいと思います。

事務局

気持ちがある方が受講されているのに、受講した方をどう生かしていくかというところが、見いだせていない。我々はお膳立てを全部できない。介護事業所のデイサービスの就労に結びつく取り組みしかしていない。こういう取り組みがいいとか、逆にニーズがたくさん上がってくれば、そこに町や生活支援コーディネーターも入りながら、住民の皆さんと一緒に協議できるような機会があればよいと思います。

会長

1人でなかなか外出できない方が多い。交通手段がないと困っている地域はありませんか。国道1号線沿いはどうですか。

副会長

西側の方に病院がないです。バスで通えることに越したことはないが、通えない人もいると思うので需要があるのでは。

委員

そういう方はおそらく、駅までバスで出て、駅から大磯病院のバスが出ているので、利用しています。もしくは電車で、他市町村に向かってその駅から。多分、山近さんに通っている方の国府津行きのバスがなくなってしまったことが不便だと思います。

地域的には国道1号線沿いと言うより二宮中学校の奥の住宅の方が不便です。バスを入れるにも道が狭くて入れないし、商店がなくなってしまうと、非常に生活に不便を感じてるとい声、たびたび聞こえてきています。それは後程話があると思いますが、「だあれ」さんの活動で若干解消していけるとい期待があります。

会長

なかなかすぐ解決するというのは難しいが、困っている方が多い地域で、知恵を出し合っていくということが必要なのかなと思います。

いろいろな利便施設が割と固まっているというのは、確かだと思います。ただ、エリアそのものは非常に狭いので、ちょっとした工夫で支援ができるのかなと思います。遠いところだと2、30キロ走らないと、病院に行かないというような集落があるので、そういうところに比べたら二宮は2、30分

車で走ると、何回も回るようになるので、ちょっとした工夫で、可能性は広がっていくと思います。

各地区の協議会でもいろいろな話題が出てくると思うので、議題は次へ行きたいと思います。

(3) 地域の状況と生活支援コーディネーターの動きについて

会長 次の議題はいちふくの石黒さん、お願いします。

(令和 6 年度「いちふく」(一色小学校区福祉協議会) 活動報告に基づき説明)

会長 ありがとうございます。では引き続き、報告をいただきたいと思います。松永さん、お願いします。

(その他の協議体と S C の動き (要点まとめ) に基づき説明)

会長 ファミリーマートさんのイートインコーナーの話が出ました。

委員 イートインはなくなります。居場所としてあったので、なくなるのは寂しい。お年寄りの方だけではなく、子供から、結構幅広く使ってもらっていたので、何か別のことは考えたいと思っています。

会長 ファミリーマートさんだけでなく、地域で考えて、どんな形でもいいので、今までの流れを引き継げるとよいと思います。

あと、各小学校区で出た意見を町へどう提案したらいいのかということですが。

事務局 全部が全部、町がやるべきことじゃないと思います。役割分担をして、行政でできるようなことはもちろん、町で考えればいけないし、すぐできそうなこと、先ほど下町の地区で、買い物がしにくい方がいるというニーズに対して、だあれさんの拠点があるから、そこで買えるようにしましょうというのは、マッチングができればいいかなと思うので、振り分けしたいと思っています。皆さんもある意味、生活支援コーディネー

ターであるので、ニーズを拾って、みんなで繋がっていただければいいと思います。

会長

クローバーさんの方で、民生委員さんが欠員のところもある中で、民サポを自主的に作られた。そういう動きは、町全体にあるのでしょうか。

委員

何とも言えないです。民生委員の活動そのものが、個人情報を持つことなので、非常にデリケートな問題です。私たちもサポートするにあたり、地域を歩いてる中で、退任したメンバーで民生委員でなければ知りえない情報、それを逆に民生委員さんに上げていくサポーターとして手伝っているので、核の部分に触れられない部分もありますし、それを把握した上で、今お手伝いしてます。

立ち上げるにあたり、町内の皆様や地区長、民生委員の会長さんや高齢介護課課長さんはあちらこちらできちんと了解をいただいて、町内にも回覧全部知らしめた上で、活動をスタートしているので、そういうことをすべて敷いた上で、スタートするという時点で非常に労力が入ることです。地区ごとにやって初めて成立することだと思います。だから地域のご理解が最大の力になると思います。それがあつてのサポーターだと思います。

会長

民生委員に初めてなった方が、活動しやすいような環境を作るという、個人情報ではない部分の情報の集約ですかね。

委員

そうです。

会長

そういう動きは、町内だけじゃなくて他のところでは、あるのですか。

委員

新聞で見ました。他の行政で、全国的な民生委員の担い手不足は毎年12月の一斉改選のころ取りざたされていて、その中の情報でたまたま退任したメンバーをお手伝いする地域があると読みました。次の後任の方が現職でお仕事をされてる方で、行動するにも時間的な制約もあるということで、私とその

後任の方とで、お手伝いしたら受けていただけるならば、我々でサポートチームを作りましょう、こんなふう新聞に載ってたよ、何ができるかわからないけれど、とりあえず立ち上げてみようという形でスタートしました。それはやっぱり石川さんや松永さん、当時いらっしゃった皆さんの情報や知識があつて、お助けいただいて、今も2ヶ月に1回ケア会議を開いていろいろ意見交換してます。

会長 民生委員さんの欠員がまだあるということで、今後欠員をなくすために何かありますか。

健康福祉部長 そうですね。民サポというのは今までにない発想で画期的なことです。これは民生委員さんの中でも共有しています。あと、民生委員のなり手不足という中に、民生委員は大変だという先入観があります。実際大変だと思います。今、福祉保険課で取り組んでいるのが、民生委員の仕事の標準化といいますか、最低限の業務を整理しています。例えばこの間、ケアマネジャーさんとの交流会をやったのですが、ケアマネさんが入ってることを知っていると、民生委員は情報を掴める。あと、シルバー緊急通報システムが入っていれば、いざとなれば、アルソックに連絡行く。もうちょっと民生委員の仕事を精査して、次の人を見つけやすいようにしていく必要がある、というような動きを今しているところです。

会長 最初の議題であつた介護保険を受ける立場になったとき、地域の顔見知りの方に相談できるとか、そういうことでも繋がるだろうし、やっぱり欠員っていうのはその地域にとっては、好ましくないと思うので、うまく広がっていくという形で、「私も今度民生委員をやりたい」となるといいと思います。

健康福祉部長 追加です。民生委員さんにアンケートをとると、やってよかったっていう人が多いです。やはり、とっつきやすいとか、なりやすいような形を町民の皆さんに知ってもらうことが大切で、民生委員さんが何でも解決するのではなく、何かあれば行政や社協に伝えれば、あとは我々の方で動きます。そういうところをもっと町民の皆さんに知ってもらえるように、町も

PRしていかなければいけないと思っています。

会長

何かちょっとおしゃべりをしたいとか、それこそ認知症予防におしゃべりするのはとてもいいでしょうし、いろいろな困ってることを相談しながら、身近にすることが、民生委員さんじゃなくてもいいのかもしれないけど、そういう地域であって欲しいです。昔はよかったというのも変ですが、そういう繋がりがあったというのは、どこの地区でもいえるかもしれないと思いました。

委員

たんぽぽささえたいの上田さんから、前回コミュニティバスの表示が見づらいという部分が改善されたっていうことの御礼をたんぽぽささえたいの会の最初にお話しいただきました。

委員

普段車なので、コミュニティバスはほとんど利用したことがなかったのですが、たまたま利用する機会がありまして、その時にバス停の時刻表が余りにも不備で、バスのコースがどう回るのか全くわからない時刻表でした。

それをたんぽぽささえたいでお話ししたら、そこに参加していた依田さん、社協の方や田辺課長が耳を傾けてくださいました。その会は去年のちょうど2月でした。次に私が利用したのが7月ぐらいだったと思うのですが、時刻表を見たら変わっていました。年度末から新年度になって、すぐそれが動く体制をとってくれて、ものすごく感激しました。あのときに話して、本当によかったと思いました。

集まって話をするということが、とても大事です。すぐに解決できなくても耳を傾けてくださって、そして知恵を絞ってくださる。実際に時刻表は、費用がとってもかかりますが、ラミネートでコースを書いてあるのを縮小していました。町役場の方の知恵が集約されていて、感激しました。

会長

それではごみ出し支援の状況です。前回話題になりましたが、今日は資料としてつけますので、事務局よろしく願います。

(資料3：高齢者等ごみ出し支援事業の試行的実施に基づき説明)

会長 引き続いて議題4です。

(4) 令和7年度 二宮町生活支援体制整備事業 予定表(案)について

(資料4：令和7年度二宮町生活支援体制整備事業予定表(案)に基づき説明)

会長 以上で議題が終わりましたので、事務局さんにお返ししたいと思います。

事務局 今日は、いろいろなご意見も含めて協議をいただきありがとうございます。それではこれで閉会とさせていただきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。

閉会 午後8時5分